

平成23年度第2回秋田市中心市街地活性化協議会開催結果

平成24年2月20日13時30分から、秋田商工会議所ホール80において、秋田市中心市街地活性化協議会を開催しましたので、その議事内容について公表します。

(議事内容)

- | | |
|-----|--|
| 場 所 | 秋田商工会議所 7階 ホール80 |
| 出席者 | 委員：15名 オブザーバー：6名 |
| 協 議 | (1) 秋田市中心市街地活性化基本計画の変更および
戦略的中心市街地商業等活性化支援事業費補助金
「中通一丁目再開発商業施設取得事業」の申請について |
| 報 告 | (1) 平成23年度協議会事業の進捗状況について
(2) 戦略的中心市街地商業等活性化支援事業費補助金
「事務局支援タウンマネージャー設置事業」の継続について
(3) 中通一丁目地区市街地再開発事業全体の現況について
(4) 商業施設の現況について |

結果報告

渡邊靖彦会長が開会挨拶を行った後、会議の進行をした。

協議(1)「秋田市中心市街地活性化基本計画の変更について」は秋田市都市整備部まちづくり整備室三浦主席主査が説明。「戦略的中心市街地商業等活性化支援事業費補助金<中通一丁目再開発商業施設取得事業>の申請について」は秋田まちづくり(株)畠山氏が説明。変更の認定申請および補助金の申請について承認された。

次に、報告(1)「平成23年度協議会事業の進捗状況について」および報告(2)「戦略的中心市街地商業等活性化支援事業費補助金<事務局支援タウンマネージャー設置事業>の継続について」は事務局が報告し、委員より、事務局支援タウンマネージャー設置事業の継続について了承された。

報告(3)「中通一丁目地区市街地再開発事業全体の現況について」は中通一丁目地区市街地再開発組合高橋理事長、畠山事務局長が報告し、(4)「商業施設の現況について」は秋田まちづくり(株)間杉営業開発部長が報告した。

その後、意見交換に移り、委員から次のような意見や質問が出され、各担当者から説明があった。

<質疑応答>

- 協議(1) 秋田市中心市街地活性化基本計画の変更および
戦略的中心市街地商業等活性化支援事業費補助金
「中通一丁目再開発商業施設取得事業」の申請について

新開会長（仲小路振興会）

- ・秋田まちづくり(株)の出資者は何名か。また、その中で、再開発エリア内に残り事業をする予定の地権者は何名出資しているか。

秋田まちづくり(株)（畠山）

- ・秋田まちづくり(株)は地権者である。
現在、出資者は11名である。内地権者で事業をする方は3名である。
(有)クリーンサポート、(株)友愛ビルサービス、(株)清水建設

報告（1）平成23年度協議会事業の進捗状況について

佐々木委員（NPO 法人 秋田バリアフリーネットワーク）

- ・にぎわい創出の観点から自転車を取り上げるのは大変良いポイントだと思う。

仙台市では、昨年1カ月間、市内で自由に乗り降りできる自転車ステーションを設置した自転車レンタサイクル事業を実施していた。

秋田市でも、公共交通や自家用車で来街し、自転車が利用できるシステムを検討し自転車での来街環境の充実を進めて欲しい。

- ・仲小路や広小路は、秋田駅前から800mの距離であり、歩くには丁度よい距離である。その間を、雪や雨にあたらず歩ける歩行環境を作らないといけない。そのためには、仲小路および広小路のアーケードは整備していくべきである。

河村タウンマネージャー

- ・全国事例では、自転車サイクルステーションを設置し、レンタサイクルの社会実験事業を実施している地域が最近は多く見られる。

協議会事業の中の、自転車利用促進事業では、秋田駅前の空間を利用した無料駐輪場設置の検討や既存の駐輪場の利便性や環境についてのアンケートを実施している。

今後は、レンタサイクルの導入等も視野に入れ、利用促進に向け研究をしていきたいと考えている。

岩本専務理事

- ・アーケードについて、当所では行政に対し要望活動をしている。

特に仲小路については、「エリアなかいち」へのアクセス通りとなるので、アーケードの手法はいろいろあると思うが、歩行者のためにも必要性を検討していただきたいと行政に対し強力に話しをしている。しかしながら、地元商店街の方々の考えもあると思うので、当所としても調整役に回りながら検討していきたい。

報告（4）商業施設の現況について

藤本委員（ノースアジア大学教授）

- ・商業施設の説明をいただき、オープンが楽しみであり期待感がある。

「エリアなかいち」のにぎわいを実現させるためには、ファミリー層の利用を促進することが重要である。そのためにも、幼い子が安心安全で魅力的な時間を過ごせる空間の整備が必要ではないかと考える。

また、ファミリー層は、車を利用しての来街者が多いので、駐車場のノウハウがどのようになっているのか説明いただきたい。

渡邊氏（中通一丁目地区市街地再開発組合）

・商業施設については秋田まちづくり㈱が取得するが、駐車場の整備については、再開発組合が行っている。

商業施設の2階から上は秋田市が所得する駐車場となっている。これは再開発事業と一緒に整備をする。収容台数500台。商業施設の直上の駐車場から、直接商業フロアへ出入りが出来るように、2か所に分散してエレベーターを配置している。

周辺の利用環境の特徴は、2階に渡り廊下を設け、隣接する「にぎわい交流館」に屋内からも行けるような設計となっている。

藤本委員（ノースアジア大学教授）

・特に幼い子を連れて来街する場合、施設内化粧室の利便性が大切になる。その空間が充実しているかいないかで利用の仕方が変わってくると思うので、是非、利用しやすい施設環境にしていきたい。

渡邊会長

・このことを念頭におき、駐車場や商業施設の施設整備が充実するようお願いしたい。